

平成 26 年第 5 回太良町議会  
(定例会第 3 回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
8. 26	1	久保 繁幸	<b>1. 町長の進退について</b> 町長の任期は来年2月17日と改選まで5カ月となるが、三期目への進退をどう考えておられるのか。	町 長
			<b>2. 豪雨対策について</b> 全国的に多発し、甚大な被害を出しているが、豪雨に対して本町はどのような対応をされるのか。 また、今年は夏になっても長雨が続けているが、本町の被害はどうであったか。	町 長
8. 28	2	田川 浩	<b>1. 教育問題について</b> 少子化にともない、本町の小中学校の生徒数も減少の一途である。多良中学校、大浦中学校の全生徒数は2年前は160名前後であったが、多良中学校は6年後、大浦中学校は3年後には100名前後になると予想される。将来を見据え、小学校を含め様々な角度から学校統合の議論がなされる時期に来ていると思うが、教育長としての考えを問う。 (1) これまで学校の統合問題について議論されたことはあったのか。 (2) 生徒数減少により、学校行事やクラブ活動などにどのような変化があったか。 (3) 今後、調査研究会、または協議会などをつくってこの問題に取り組む予定はないか。	教育長
			<b>2. 行政区内の道路維持について</b> 町内にある公の道路で行政区内の道路、いわゆる里道が老朽化しその補修のために行政区が費用を一部負担するケースがある。近年、その老朽化の箇所が多くなり負担金が行政区の財政を圧迫してきているところもある。里道とはいえ、生活に欠かせないものになっている箇所ばかりなので放置することもできない。工事そのものが難しかったり、人的不足で原材料支給でも対応できない場合もあるので、一定の基準を決め、町で補修してもらうことはできないか。	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
8. 28	3	牟田 則雄	<b>1. 太良町の人口減少について</b> (1) 人口減少の原因は。 (2) 人口減少に伴う太良町の将来展望への影響は。 (3) 人口減少に対する対策はとして、1次産業を核とした雇用創出を図れないか。	町 長
8. 28	4	坂口 久信	<b>1. 中山キャンプ場の周辺整備について</b> (1) バンガローは老朽化しているが、今後、改築する考えはあるのか。 (2) 夏場には多数の来客者があっており、駐車場が狭く感じるが、今後、駐車場を拡張する考えはあるのか。 (3) 作業道経ヶ岳線は常時施錠状態にあるが、登山客を増やすためにも開放できないか。 (4) 中山キャンプ場を子供たちの研修の場として活用できないか。	町 長
			<b>2. 太良町内の小中学生の携帯・スマートフォンの普及率について</b> 全国的に携帯・スマートフォン等を使った事件や事故が多発しているが、太良町内の小中学生の普及率やメール等による被害状況はどうなのか。	教育長
			<b>3. 国道207号線の歩道設置について</b> 国道207号線の糸岐地区の一部において歩道がない区間があり、車の往来も多く非常に危険である。今後、歩道の設置はできないか。	町 長